

産業環境委員会報告資料

令和8年1月22日

報告事項件名	頁
(1) 海外販路拡大支援事業の進捗状況について	2
(2) 海外販路拡大支援事業の今後の方針について	5
(3) 令和7年度緊急経営資金（原油価格・物価高騰対策資金）の受付状況について	7
(4) 令和7年度区内中小企業人材採用支援助成金の受付状況について	11
(5) 消費喚起策の進捗状況について	14
(6) 第26期足立区農業委員会委員の募集について	17
(7) 「巡って探せ！千住宿の秘宝」の開催結果報告について	18
(8) 令和8年度「光の祭典」事業者選定プロポーザルの実施について	24
(9) 「舍人公園千本桜まつり」の開催について	26

(産業経済部)

産業環境委員会報告資料

令和8年1月22日

件名	海外販路拡大支援事業の進捗状況について
所管部課名	産業経済部 産業政策課
内 容	<p>令和3年度から実施している海外販路拡大支援事業の進捗及び課題について報告する。</p> <p>1 令和7年度の香港商談会の状況</p> <p>(1) 開催期間等</p> <p>令和7年10月23日・24日の2日間、バイヤーを招聘しての商談会形式</p> <p>(2) 商談数等実績</p> <p>ア 足立区参加事業者 10社</p> <p>イ 来場バイヤー等 34社</p> <p>日系百貨店、輸入関連会社、大手商業施設等ディベロッパー等</p> <p>ウ 全商談件数 131件</p> <p>参加事業者1社平均の商談数13件（最少12件、最多16件）</p> <p>エ 成約見込（令和7年12月1日時点）</p> <p>成約見込は15件、約7,500千円。主な内容は以下のとおり。</p> <p>① 百貨店から、デザインや機能に優れた樹脂製食器のまとまった量の発注について条件調整中</p> <p>② 牛乳パックアップサイクル商品については、イベント会社など複数のバイヤー等とコラボや別注のサンプル制作等が進行</p> <p>③ きな粉について、日本製品輸入関連会社が発注</p> <p style="text-align: center;">【商談会の様子】</p> 

(3) 参加した区内事業者の主な振り返り内容

評価できる点	<ul style="list-style-type: none">① 展示会よりも、特徴など丁寧に説明することができた。② 先方からこだわりなど率直に質問され関心の高さを実感した。③ 香港の通常の掛け率に合わせて、事前に価格交渉用のプライスリストを作成し、上手く活用できた。④ 双方で「どう売るか」という具体的な話まででき、商品導入イメージを持ってもらえた手応えがある、本当に中身のある商談。
課題点	<ul style="list-style-type: none">① 先方の輸入形態が多様で条件等も異なるため、スピーディかつ柔軟な対応が課題。② 「取引のしやすさ」や「導入後のイメージ」までを含めて提案することが重要。③ 「日本ブランド」にニーズがあるので、海外を視野に、国内でブランドを築く必要を感じた。

(4) 来場バイヤー等からの主なフィードバック

- ア 約90%のバイヤーが商談に満足している。
- イ 興味を持った理由は、質の高さ、商品コンセプトを多く挙げている。
- ウ 商談相手に長期的な関係構築を求めるバイヤーが最も多い。

(5) 商談会後のフォローアップ状況

- ア 足立区参加事業者10社にヒアリングを実施し、フォローアップの優先順位や必要なアプローチを整理した。継続的にサポートしていく。
- イ 催事開催、インフルエンサーの工場見学など、複数社まとめて進める方が有効な案件は、個社の商談ではなく事業内でとりまとめていく。

2 これまでの海外販路拡大支援事業の成果・課題

(1) 成果と課題のまとめ

令和3年度から実施してきた当事業について、各社の進捗状況を踏まえ以下の5つの観点で達成状況と課題について整理した。

項目	達成状況	課題
商品開発及びブランディングに関して	ブランディングによってストーリーや価値を伝えることが取引成否に影響する中で、多くの事業者が、海外バイヤーを集められる商品の開発・改良、自社ブランドの立上げを達成した。	参加当初、自社ブランドとして確立しておらず、ブランディングに時間がかかるケースが多かった。取り組みやすい国内でのブランディングを優先するなどが今後求められる。
費用対効果に関して	令和6年度までの4年間費用 89,238千円 延べ支援社数54社 展示会出展・商談会等14回	現時点での費用対効果や販路開拓の進捗には課題がある。販路開拓には3～5年の時間がかかるに加え、コロナで本格出展が令和5年度からになったことも影響した。
	売上概算26,600千円 (関連売上含む)	
海外販路開拓の状況	現地で販路開拓が進みつつあるのは3社である。 その他3社は、今年度の商談会で、今後に向けて重要な実績を得る見込み。	今回の商談会でも「長期間の関係構築」を求めるバイヤーが多いため、各社が時間をかけて取組む必要がある。
参加事業者の自走の可能性に関して	継続参加したほとんどの事業者が、獲得したノウハウや現地パートナーとの連携により、自走での海外販路開拓に取り組めるようになった。	自走できる事業者には、出展コストの負担軽減や相談先の確保によって、海外展開を後押しすることが必要。
区内他事業者へのノウハウ展開について	この事業のノウハウをブックにまとめ区内事業者に配布とともに、令和5年度以降は、ジェトロ等を招いたセミナーによりノウハウを展開できた。	機運醸成を図ってきたが、新たに海外展開を目指す事業者がいないのが実情。

これらの課題を踏まえ、次年度以降の方針を設定する。

產業環境委員會報告資料

令和8年1月22日

件名	海外販路拡大支援事業の今後の方針について
所管部課名	産業経済部 産業政策課
内容	<p>令和3年度から実施してきた海外販路拡大支援事業について、これまでの事業の課題等を踏まえ、令和8年度以降の方針について報告する。</p> <p>1 海外販路拡大支援事業の終了</p> <p>理由（1）コロナの影響で活動が制限された期間を除いても、概ね3年間は、伴走支援により機会を提供し、自走準備を進めてきたため。</p> <p>理由（2）事業内で実施してきた集団での出展では、商材によって展示会との親和性に差があり、また各社が商品の優位性やデザイン性をPRしにくい、という課題があるため。</p> <p>理由（3）国内市場で商品のブラッシュアップが進み、新たに、本格的に海外挑戦を目指す事業者がいないため。</p> <p>2 今後の支援の方向性について</p> <p>（1）海外挑戦経験値等に応じた支援策</p> <p>② 海外挑戦・出展経験が少ない 商品の完成度が高い</p> <p>専門機関の伴走支援を活用した海外販路開拓</p> <p>↓</p> <p>ジエトロ等への橋渡し</p> <p>➤ 海外初心者が一から目指せる仕組みの活用</p> <p>① 海外挑戦・出展経験が多い 商品の完成度が高い</p> <p>※今年度参加事業者6,7社が該当</p> <p>適切な市場を選択し自走によって海外販路開拓</p> <p>↓</p> <p>国外見本市出展助成事業</p> <p>➤ 海外展示会等への出展に補助 ➤ 専門家等から助言を得ることができるよう相談先を確保</p> <p>少 ➤ 多</p> <p>③ 商品の完成度が高くない</p> <p>➤ 国内市場でのブラッシュアップやブランディングを優先 ➤ 国内商社との商談やインバウンド需要の取り込みから始める</p> <p>↓</p> <p>国内販路事業等によるブラッシュアップや商談の支援</p> <p>低 ➤ 高</p>

- | | |
|--|---|
| | <p>① 海外挑戦や見本市出展の経験があり、商品完成度が高い事業者
→国外見本市出展助成事業による支援
自走段階では、集団出展より各社が適した出展先を選択した方が有効である。専門機関や専門家等との連携によって、出展者が相談できる先を確保し国外見本市出展助成事業によって海外展開を支援していく。</p> <p>② 海外挑戦や見本市出展の経験は少ないが、商品完成度が高い事業者
→ジェトロ等への橋渡しにより支援
国の専門機関であるジェトロ等が行う、初めての海外挑戦を支援する仕組みなどを紹介する。</p> <p>③ 商品の完成度を高める必要がある事業者
→国内販路事業などで初期段階のブラッシュアップを手厚く支援
商品価値が十分伝わる自社ブランドを確立している事業者は多くないため、コスト面などから取り組みやすい国内市場でブラッシュアップやブランドの確立、販路の開拓を支援する。</p> <p>(2) 今後の事業の周知について
各社が経験や商品・ブランドの完成度に応じて適した事業を選択できるよう生活産業広報紙「トキメキ」等を通じて周知していく。</p> |
|--|---|

産業環境委員会報告資料

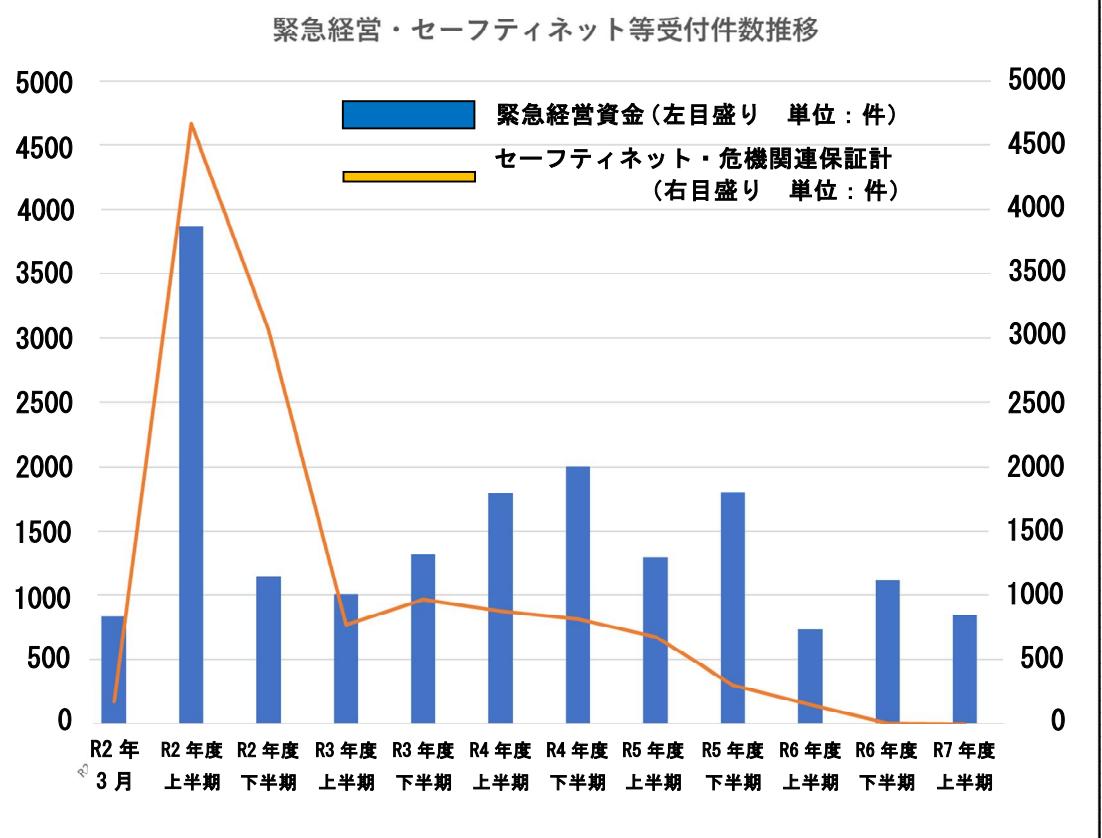
令和8年1月22日

件名	令和7年度緊急経営資金（原油価格・物価高騰対策資金）の受付状況について		
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課		
	原油価格・物価高騰対策資金である緊急経営資金の受付件数等、融資実行状況の令和7年12月末までの実績について、以下のとおり報告する。		
1 緊急経営資金等受付件数			
内 容	月	緊急経営資金	セーフティネット4号
	令和2年3月	839件	140件
	令和2年度	5,013件	5,649件
	令和3年度	2,327件	1,462件
	令和4年度	3,795件	1,614件
	令和5年度上半期	1,295件 (186件)	641件
	令和5年度下半期	1,800件 (384件)	266件
	令和6年度上半期	733件 (180件)	135件
	令和6年度下半期	1,114件 (174件)	—
	令和7年度上半期	849件 (102件)	—
	10月	129件 (19件)	—
	11月	132件 (17件)	—
	12月	144件 (15件)	—
	計	18,170件 (1,077件)	9,907件
			1,474件

※ 令和4年8月1日から、1,000万円から2,000万円への融資上限額の引き上げを実施

※ () 内の数値は *緊急経営資金（特別借換）のあつ旋件数

* 緊急経営資金（特別借換）とは、物価高騰等で区の緊急経営資金の返済に苦慮している区内事業者のため、新たに「保証料の全額補助」「据置期間の設定」「借換え元の元金の返済を求めない」という3つのメリットを付与し、令和5年8月1日から実施している借換え制度。金融機関に対し、申請時に事業者の強み弱み等を分析し、今後の経営に活かしていく「SWOT分析・事業性評価シート」の提出を必要とし、伴走支援を促している。



(1) セーフティネットの各申請期限について

セーフティネット5号は令和7年12月31日から令和8年3月31日まで延長された。セーフティネット4号は、令和6年6月30日をもって終了した。

※ セーフティネットとは

様々な突発的事由によって経営が困難（売上高等が減少）となった中小企業者を対象に、信用保証協会が通常の保証限度額とは別枠で保証を行うもの。市区町村が認定する。

【セーフティネット4号】

自然災害等の突発的災害を対象として全都道府県を指定。原則として直近1か月間及び直近3か月間の売上高等が前年同月と比べて20%以上減少している場合保証協会が債務の100%を保証する。

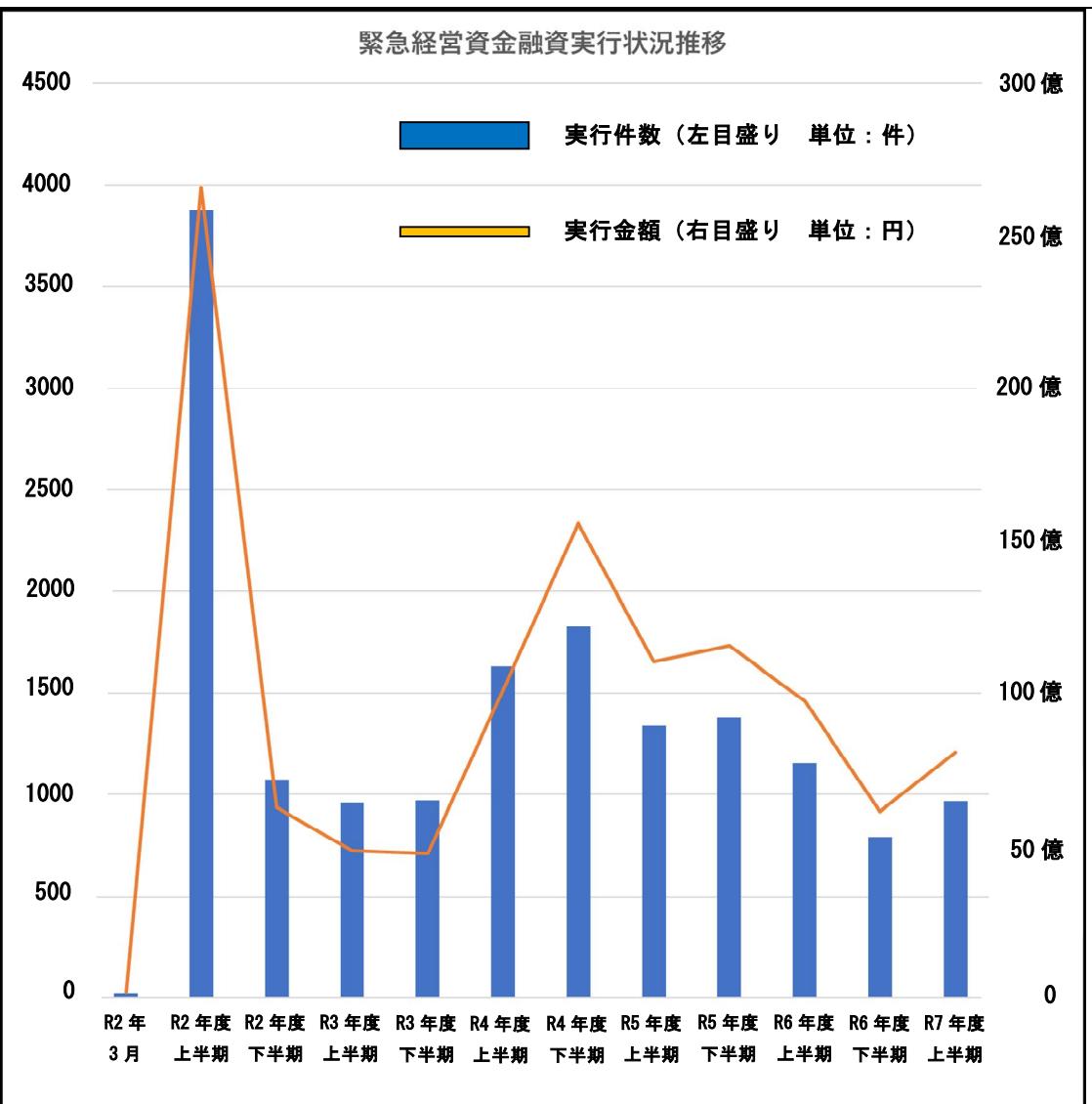
【セーフティネット5号】

全国的に業績が悪化している業種を指定。原則として最近3か月間の売上高等が直前同期の3か月間と比べて5%以上減少している場合、保証協会が債務の80%を保証する。

2 融資実行件数等

月	融資実行件数	実行金額	信用保証料補助額
令和2年3月	24件	185,500千円	4,835千円
令和2年度	4,947件	32,831,790千円	860,040千円
令和3年度	1,929件	9,582,920千円	229,384千円
令和4年度	3,458件	25,676,850千円	616,309千円
令和5年度上半期	1,340件 (5件)	11,009,720千円 (32,000千円)	256,289千円 (716千円)
令和5年度下半期	1,380件 (400件)	11,549,926千円 (3,977,526千円)	255,258千円 (101,848千円)
令和6年度上半期	1,155件 (244件)	9,739,219千円 (2,622,559千円)	222,420千円 (66,251千円)
令和6年度下半期	791件 (139件)	6,116,630千円 (1,476,440千円)	141,012千円 (35,553千円)
令和7年度上半期	966件 (136件)	8,056,090千円 (1,568,360千円)	175,536千円 (38,738千円)
10月	153件 (13件)	1,277,200千円 (123,000千円)	27,040千円 (3,770千円)
11月	107件 (13件)	882,500千円 (180,000千円)	19,396千円 (4,712千円)
12月	122件 (13件)	902,300千円 (149,600千円)	20,003千円 (4,460千円)
計	16,372件 (963件)	117,810,645千円 (10,129,485千円)	2,827,522千円 (256,048千円)

※ () 内の数値は緊急経営資金（特別借換）の実行件数、実行金額及び信用保証料補助額



3 今後の方針等

令和7年4月から12月の申請数は1,254件で月平均約139件であり、昨年度の同時期と比較してやや増加している。今後も金融機関から米国関税の影響や経済状況等をヒアリングしつつ、引き続き区内事業者に対し丁寧な支援を行っていく。

産業環境委員会報告資料

令和8年1月22日

件名	令和7年度区内中小企業人材採用支援助成金の受付状況について																																																
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課																																																
	区内中小企業等の人材不足解消を目的として開始した区内中小企業人材採用支援助成金の令和7年度受付状況について、報告する。																																																
内容	<p>1 助成内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象</td> <td>区内中小企業及び個人事業主</td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td>① 求人サイトや有料求人情報誌等への掲載費用 ② 人材紹介事業者を仲介し、雇用した際に発生する経費（成功報酬）</td> </tr> <tr> <td>助成額上限</td> <td>① 求人広告 40万円 ② 人材紹介 60万円</td> </tr> <tr> <td>助成率</td> <td>1/2</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>181,029千円</td> </tr> <tr> <td>申請期間</td> <td>令和7年4月～ 令和8年1月末</td> </tr> <tr> <td>申請条件</td> <td>実績報告書提出の6ヶ月後に入材の定着状況を必ず報告。報告がなかった場合、報告期限の属する年度の翌年度以降の申請不可（要綱に規定）</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>申請は年度内1回のみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 月別申請状況（令和7年12月末現在）</p> <table border="1"> <caption>交付決定額と申請件数の推移（各月ベース）</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>交付決定額（累計）千円</th> <th>申請件数（累計）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>26,921</td><td>78</td></tr> <tr><td>5月</td><td>40,041</td><td>119</td></tr> <tr><td>6月</td><td>54,685</td><td>160</td></tr> <tr><td>7月</td><td>66,720</td><td>194</td></tr> <tr><td>8月</td><td>72,704</td><td>217</td></tr> <tr><td>9月</td><td>81,142</td><td>241</td></tr> <tr><td>10月</td><td>91,562</td><td>268</td></tr> <tr><td>11月</td><td>96,918</td><td>285</td></tr> <tr><td>12月</td><td>101,472</td><td>300</td></tr> </tbody> </table>	年度	令和7年度	対象	区内中小企業及び個人事業主	対象経費	① 求人サイトや有料求人情報誌等への掲載費用 ② 人材紹介事業者を仲介し、雇用した際に発生する経費（成功報酬）	助成額上限	① 求人広告 40万円 ② 人材紹介 60万円	助成率	1/2	予算額	181,029千円	申請期間	令和7年4月～ 令和8年1月末	申請条件	実績報告書提出の6ヶ月後に入材の定着状況を必ず報告。報告がなかった場合、報告期限の属する年度の翌年度以降の申請不可（要綱に規定）	備考	申請は年度内1回のみ	月	交付決定額（累計）千円	申請件数（累計）	4月	26,921	78	5月	40,041	119	6月	54,685	160	7月	66,720	194	8月	72,704	217	9月	81,142	241	10月	91,562	268	11月	96,918	285	12月	101,472	300
年度	令和7年度																																																
対象	区内中小企業及び個人事業主																																																
対象経費	① 求人サイトや有料求人情報誌等への掲載費用 ② 人材紹介事業者を仲介し、雇用した際に発生する経費（成功報酬）																																																
助成額上限	① 求人広告 40万円 ② 人材紹介 60万円																																																
助成率	1/2																																																
予算額	181,029千円																																																
申請期間	令和7年4月～ 令和8年1月末																																																
申請条件	実績報告書提出の6ヶ月後に入材の定着状況を必ず報告。報告がなかった場合、報告期限の属する年度の翌年度以降の申請不可（要綱に規定）																																																
備考	申請は年度内1回のみ																																																
月	交付決定額（累計）千円	申請件数（累計）																																															
4月	26,921	78																																															
5月	40,041	119																																															
6月	54,685	160																																															
7月	66,720	194																																															
8月	72,704	217																																															
9月	81,142	241																																															
10月	91,562	268																																															
11月	96,918	285																																															
12月	101,472	300																																															

	申請件数内訳				交付決定額
	求人広告 (件)	人材紹介 (件)	両方 (件)	合計 (件)	合計 (千円)
4月	72	6	0	78	26,921
5月	37	4	0	41	13,120
6月	31	10	0	41	14,644
7月	27	7	0	34	12,035
8月	20	2	1	23	5,984
9月	15	9	0	24	8,438
10月	17	10	0	27	10,420
11月	14	3	0	17	5,356
12月	11	4	0	15	4,554
合計	244	55	1	300	101,472

※ 予算額に対する交付決定割合 : 56% (当初予算額 181,029 千円)

3 業種別申請及び実績件数 (令和7年12月末現在)

(1) 求人広告 (採用率順)

業種	申請 件数 (件)	実績報告 件数 ※ A (件)	採用 件数 B (件)	採用 人数 (人)	採用率 B/A(%)
製造	25	16	13	22	81
サービス業	42	16	12	27	75
小売業	25	12	9	12	75
飲食	14	9	6	19	67
土木・建築・建設等	89	36	20	47	56
運輸・運送・物流	44	26	12	33	46
介護 (社会福祉法人等 は除く)	5	3	1	1	33
医療 (医療法人等は除く)	1	1	0	0	0
合計	245	119	73	161	61

※ 求人掲載終了後、実績報告書の提出があった件数

※ 1件は両方 (求人広告と人材紹介) での申請だったが、人材紹介の
分が取り下げられたため、求人広告の中に計上。

(2) 人材紹介 (申請件数順)

業種	申請 件数 (件)	実績報告 件数 ※ 1 (件)	採用件数 ※ 2 (件)	採用人数 (人)
サービス業	17	11	11	12
介護 (社会福祉法人等は 除く)	13	11	11	12
製造	7	7	7	7
土木・建築・建設等	5	5	5	7
飲食	4	3	3	4
小売業	4	3	3	4
医療 (医療法人等は除く)	3	3	3	3
運輸・運送・物流	2	1	1	1
合計	55	44	44	50

- ※1 人材紹介会社を利用して求職者が入社した後、実績報告書の提出があった件数
 ※2 人材紹介は、内定後の申請となるため採用率は100%となる。

4 定着状況の報告（令和7年12月末現在）

実績報告書提出6ヶ月後に、定着状況の報告を依頼。

なお、定着状況は、採用から6ヶ月後時点。

（1）定着状況（企業数ベース）

報告月	対象	報告	採用出来た企業数	全員就労継続中	一部就労継続中	全員退職
11月	4件	4件	4件	3件	0件	1件
12月	8件	8件	7件	6件	1件	0件
合計	12件	12件	11件	9件	1件	1件

（2）定着状況（採用者ベース）

	採用者数	就労継続中	退職（うち雇用期間満了者）
正社員	8人	7人	1人（0人）
パートアルバイト	6人	5人	1人（0人）

（3）退職の主な理由

- ① 自己都合による退職
- ② 勤務態度に問題があったことによる退職勧奨

5 今後の方針等

- (1) 年度内の申請可能回数を複数回とすることについて、令和8年4月からの導入に向けて要綱や運用等を整備していく。
- (2) 引き続き、助成金交付の6ヶ月後に必ず定着状況を報告してもらい、定着状況の把握に努めるとともに、企業側の要望を聴き取り、来年度以降の人材採用や定着などの制度構築に活かしていく。
- (3) 本助成金を活用してもなお、採用や定着に悩む企業に対し、「区内中小企業人材確保支援事業」の人材確保コンサルティング支援を案内することで、採用及び定着の向上を図っていく。

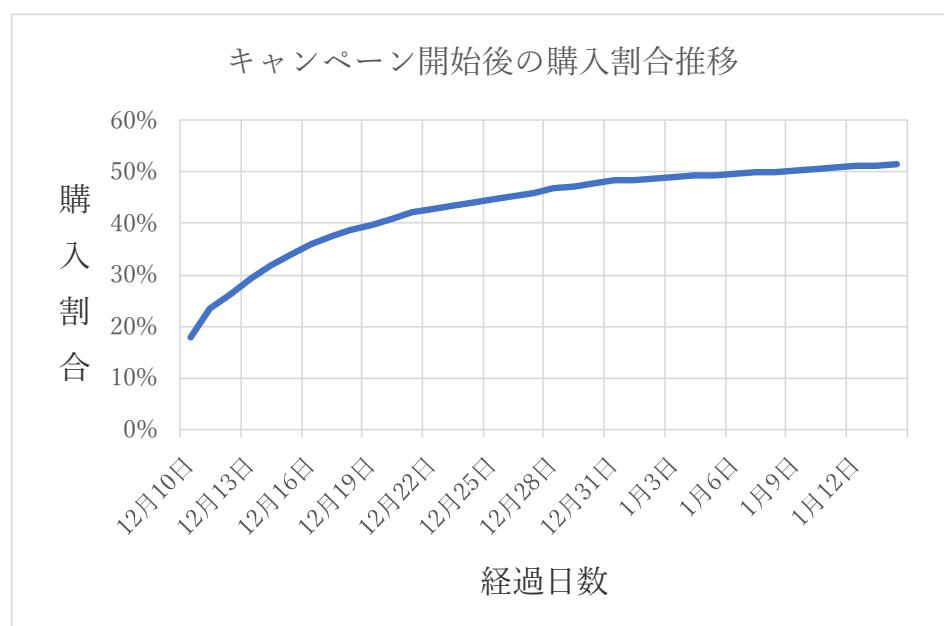
産業環境委員会報告資料

令和8年1月22日

件名	消費喚起策の進捗状況について																
所管部課名	産業経済部 産業振興課																
	消費喚起策について、その進捗状況を報告する。																
	<p>1 足立区プレミアム商品券 (PayPay商品券)</p> <p>(1) 事業概要</p> <table border="1"> <tr> <td>購入・利用期間</td><td>令和7年12月10日～令和8年3月10日</td></tr> <tr> <td>参加要件</td><td>区民のみ・先着</td></tr> <tr> <td>商品券利用先</td><td>対象店舗：区内のPayPay加盟店舗のうち、大手事業者（資本金5,001万円以上の法人が運営する店舗及びFC店舗）を除く、足立区が指定した店舗 A券：対象店舗全店で使用可能 B券：対象店舗のうち、従業員数1,000人未満の店舗でのみ使用可能</td></tr> <tr> <td>プレミアム率</td><td>30% 1セット4,000円で5,200円分 (A券2,600円、B券2,600円)</td></tr> <tr> <td>プレミアム額</td><td>12億円</td></tr> <tr> <td>購入限度</td><td>1人10口まで</td></tr> <tr> <td>発行口数</td><td>100万口</td></tr> <tr> <td>区民への周知</td><td>①あだち広報11月25日号（キャンペーん開始周知） ②生活産業広報紙「トキメキ」12月号（キャンペーん開始周知） ③町会・自治会掲示板へポスター掲出 ④区内公共施設や、区内イベントでチラシ配布</td></tr> </table> <p>(2) 常設サポート窓口</p> <p>ア 開設期間 令和7年10月27日～12月19日</p> <p>イ 利用状況（令和7年12月19日終了） 平均利用者数 211人／日 ※ 全7か所</p> <p>ウ 利用者からの主な質問・対応 (ア) 対象店舗の一覧はあるか (イ) 本人確認の操作方法 (ウ) 商品券の購入サポート</p>	購入・利用期間	令和7年12月10日～令和8年3月10日	参加要件	区民のみ・先着	商品券利用先	対象店舗：区内のPayPay加盟店舗のうち、大手事業者（資本金5,001万円以上の法人が運営する店舗及びFC店舗）を除く、足立区が指定した店舗 A券：対象店舗全店で使用可能 B券：対象店舗のうち、従業員数1,000人未満の店舗でのみ使用可能	プレミアム率	30% 1セット4,000円で5,200円分 (A券2,600円、B券2,600円)	プレミアム額	12億円	購入限度	1人10口まで	発行口数	100万口	区民への周知	①あだち広報11月25日号（キャンペーん開始周知） ②生活産業広報紙「トキメキ」12月号（キャンペーん開始周知） ③町会・自治会掲示板へポスター掲出 ④区内公共施設や、区内イベントでチラシ配布
購入・利用期間	令和7年12月10日～令和8年3月10日																
参加要件	区民のみ・先着																
商品券利用先	対象店舗：区内のPayPay加盟店舗のうち、大手事業者（資本金5,001万円以上の法人が運営する店舗及びFC店舗）を除く、足立区が指定した店舗 A券：対象店舗全店で使用可能 B券：対象店舗のうち、従業員数1,000人未満の店舗でのみ使用可能																
プレミアム率	30% 1セット4,000円で5,200円分 (A券2,600円、B券2,600円)																
プレミアム額	12億円																
購入限度	1人10口まで																
発行口数	100万口																
区民への周知	①あだち広報11月25日号（キャンペーん開始周知） ②生活産業広報紙「トキメキ」12月号（キャンペーん開始周知） ③町会・自治会掲示板へポスター掲出 ④区内公共施設や、区内イベントでチラシ配布																

(3) キャンペーン利用状況（1月14日時点）

項目	実績	総数	割合
購入ユーザー数	60,840 人	—	—
購入口数	51.3 万口	100 万口	51.3%
購入金額／発行総額	26.6 億円	52 億円	51.1%
購入総額に対する使用率	15.0 億円	26.6 億円	56.3%
発行総額に対する使用率		52 億円	28.8%
キャンペーン経過日数	36 日	91 日	39.5% ※残り 55 日



販売開始日に全体の 17.9% が購入された。1月14日時点では、全体の 51.3% の商品券が購入されている。

2 第5回レシート de 商品券事業

(1) キャンペーン内容

ア ④スタンプが押された900円以上（税込）の2店舗以上のレシート

9枚で、区内共通商品券3,000円分をプレゼント。

イ 本事業登録店には、協力金として10,000円を支給する。

(2) 事業概要（予定）

店舗募集期間	令和8年2月12日～5月13日 ※登録店一覧（紙）掲載は令和8年3月10日まで ※前回登録店へDM発送するほか、生活産業広報紙『トキメキ』（2月号に掲載）やSNSにて募集する
区民への周知	① あだち広報4月25日号 ② 区民事務所、住区センター等へチラシ配布 ③ 町会・自治会掲示板へポスター掲出 ④ HP、SNS 等
申請セット配布 (申請書・封筒)	令和8年4月上旬 (配布場所は、区役所、区民事務所、住区センター、登録店舗 等)
商品券プレゼント	3,000円
キャンペーン期間	令和8年4月27日～6月16日
申請受付期間	令和8年4月27日～6月23日（消印有効）
商品券発送期間	令和8年5月10日～8月30日
協力金振込期間	令和8年7月

3 今後の予定

(1) プレミアム商品券（PayPay商品券）は、残りの販売口数を把握し、予定販売枚数に到達した場合は事業終了の周知を行う。

(2) 第5回レシート de 商品券事業は、事業開始に向け、申請セットの配布準備を行う。

産業環境委員会報告資料

令和8年1月22日

件名	第26期足立区農業委員会委員の募集について
所管部課名	産業経済部 産業振興課
	第26期足立区農業委員会委員の委員募集について報告する。
内 容	<p>1 対象 令和8年7月20日（月）時点において満18歳以上の方で、法令等上兼職が禁止されている職についてない方</p> <p>2 業務内容 農地の転用、農地の無断転用の防止・解消など農地法等に基づく農業委員会の権限に属する事項のほか、農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の防止・解消に関する審議など</p> <p>3 任期 令和8年7月20日（月）から3年</p> <p>4 報酬 47,000円（月額）</p> <p>5 募集人数 11人</p> <p>6 選考 足立区農業委員会委員候補者選定委員会による審査（第一次＝書類選考、第一次選考通過者のみ面接）</p> <p>7 選定委員会委員 外部委員3名、内部委員（区管理職等）2名の計5名</p> <p>8 申込 (1) 所定の推薦書（個人・団体等用）、申込書に必要事項を記入のうえ、区へ簡易書留で郵送または持参 (2) 期限：令和8年2月17日（火）から3月18日（水）必着</p> <p>9 今後の方針等 あだち広報2月10日号に募集記事を掲載</p>

産業環境委員会報告資料

令和8年1月22日

件名	「巡って探せ！千住宿の秘宝」の開催結果報告について
所管部課名	産業経済部 産業振興課、一般財団法人足立区観光交流協会
内 容	<p>令和7年9月12日から12月12日まで実施した千住宿開宿400年回遊イベント「巡って探せ！千住宿の秘宝」の開催結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 実施概要</p> <p>(1) 目的</p> <p>区民の方だけでなく、これまで千住地域に来訪することのなかった方にも訪れてもらうことで、地域経済の活性化や区の好感度向上を図り、千住地域が今後も来訪先として選ばれる街になることを目的に開催する。</p> <p>(2) 内容</p> <p>千住宿開宿400年をテーマとした世界観の中で、参加者はロール扮演ゲームの主人公となって、宝探しを含めたクエスト形式で実際に千住地域を巡る77種類のクエストを実施。</p> <p>ア 「千住の琳派」を題材とした宝探しクエスト2コース</p> <p>イ 千住の歴史や文化を知る知識クエスト15種類</p> <p>ウ 店舗指定の商品購入や特定のメニューの飲食、その他体験など 店舗クエスト50種類</p> <p>エ 千住地域のイベントと連携した期間限定クエスト10種類</p> <p>(3) 賞品</p> <p>宝箱発見やクエストをクリアするごとにポイントを加算し、累計ポイント数に応じて、区内製品を含む多彩な賞品に応募できるよう設定。26種類の賞品を合計99名の当選者に1月末までに配達。</p> <p>2 実施結果</p> <p>登録者数 4,367人</p> <p>延べ参加者数 86,891人</p> <p>賞品応募者数 1,350人</p> <p>(1) 目標達成状況</p> <p>目標登録者数5,000人、延べ参加者数100,000人に対し、登録者数、延べ参加者数ともに87%の結果で目標数には及ばなかったが、イベント期間中、千住の街中では参加冊子を持った方が多く見られた。</p> <p>(2) 費用</p> <p>総事業費34,987千円 (登録者一人当たり8,012円、延べ参加者一人当たり403円)</p> <p>(3) 平均消費単価</p> <p>一人当たりの平均消費単価5,894円</p>

3 事業PRについて

(1) イベントの区外PR

開催地であり、多くの利用者の方がいる北千住駅を核とした交通広告と、インターネット広告等を組み合わせて効果的な区外PRを行い、来街を促進した。

ア 北千住駅を通る5路線（東武スカイツリーライン、東京メトロ千代田線・日比谷線、JR常磐線、つくばエクスプレス）と日暮里・舎人ライナーに車内広告の掲載、北千住駅を含む各駅へのポスター掲出、東武スカイツリーライン北千住駅サイネージ、スマイルビジョン放映

イ イベント期間中のSNS動画広告で若い世代への発信を強化

ウ 千住宿開宿400年特設サイトへの掲載と、協会公式インスタグラムへの投稿

エ イベント開始時告知に加え、残り期間1か月のタイミングで体験レポートをプレスリリース

(2) 参加冊子配布場所

区役所アトリウム、千住街の駅、各区民事務所、区内各駅、図書館等の区内施設、区内大学・高校、都庁、クエスト先、観光交流協会関連イベント等約300か所

(3) 参加冊子配布数

40,000冊

※ 別途イベント周知チラシ約5,000部とポスター200部を区内施設、都内観光案内所等に配布したほか、全小中学に開催情報をC4th homeで配信

(4) YouTube広告15秒動画再生回数

179,655回

(5) 体験例インスタグラム投稿

いいね200件（ビュー1.1万件以上）

4 アンケート結果

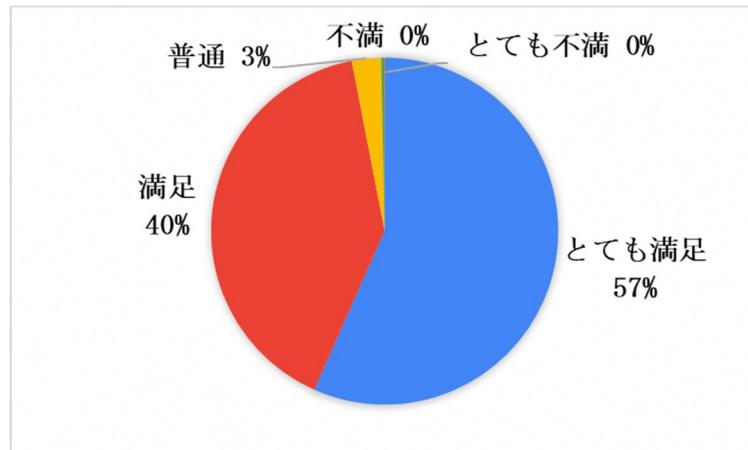
賞品応募時のアンケート回答の集計結果から抜粋n=1,350

(1) お住まいの地域

都道府県	人数	割合
足立区内	709	53%
東京23区(足立区外)	256	19%
東京都（23区外）	65	5%
埼玉県	117	8%
千葉県	97	7%
神奈川県	70	5%
茨城県	10	1%
その他	26	2%

(2) 参加されていかがでしたか？（満足度）

「とても満足」「満足」と回答した人が合計で97%を超えていた。



(3) ご自身でいくらくらいお金を使われましたか？

消費金額	人数	割合
2万円以上	79	6%
1万円～2万円未満	135	10%
5千円～1万円未満	315	23%
2千円～5千円未満	467	35%
千円～2千円未満	195	14%
千円未満	124	9%
使わなかった・未回答	35	3%

(4) 今回知った歴史文化、好きになった場所

当イベントをきっかけに、新たに知った場所や内容を回答された方が多い。区内の方は具体的な場所を回答された一方、区外の方は千住全体の事を回答される方が多かった。

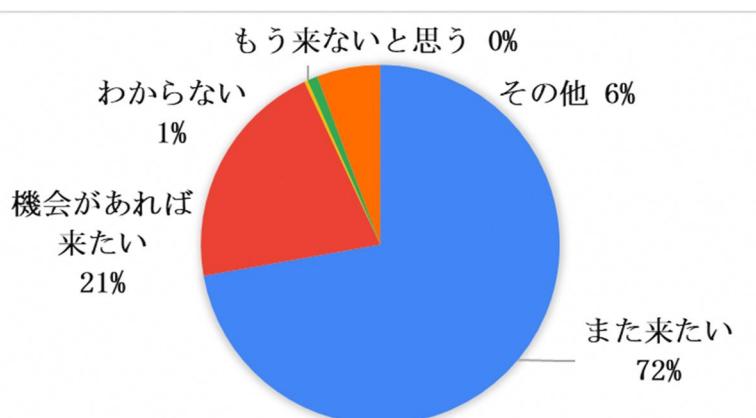
	施設名/内容	コメント概要
区内	お化け煙突	子どもたちは生活の授業で習ったらしく、実際にその場所に行き喜んでいた。
	仲町の家	はじめて訪問したが、とても素敵だった。
	銭湯	雰囲気のある銭湯がたくさんあり、賑わっているのを初めて知った。千住の一部にしか来たことが無かったんだと気づいた。
	柳原千草園	宝探しクエストで行ったがすごく綺麗でお気に入りのスポットになった。宝箱に紅葉が映ってとても素敵なところにあった。

	施設名/内容	コメント概要	居住地
区外	河原町稻荷神社	大きな狛犬に驚いた。紅葉と合わせて良い撮影スポットだった。	練馬区
	千住の歴史・商店街	千住が宿場町だった事や歴史に名を遺す人々の関わりを知ったり、史跡が商店街にあるのが面白かった。	練馬区
	千住のイメージ	飲み屋街だと思っていた千住のイメージがガラリと変わった。奥の細道の出発地、お化け煙突のモニュメント、千草園など、また訪れたい。	葛飾区
	千住の歴史・文化	歴史や文化に関して初めて知ることばかりだった。	墨田区
	足立市場・地口行灯	足立区に市場があることや、地口行灯の存在を初めて知った。	府中市
	千住のイメージ	乗り換えで使うことが多かったが、銭湯がたくさんあったり、休日にはイベントが開催されていることを知り、楽しかった。	千葉県 流山市
	地口行灯・商店街	行灯を見ながら商店街をぶらぶら歩くのが楽しく、美味しいお店も多くて何度も行きたくなった。	神奈川県 横浜市
	千住の歴史	歴史的な場所だと思っていなかったので新鮮だった。「やっちゃん場」という言葉を初めて知った。	埼玉県 春日部市

(5) 千住にまた来たいと思いますか？

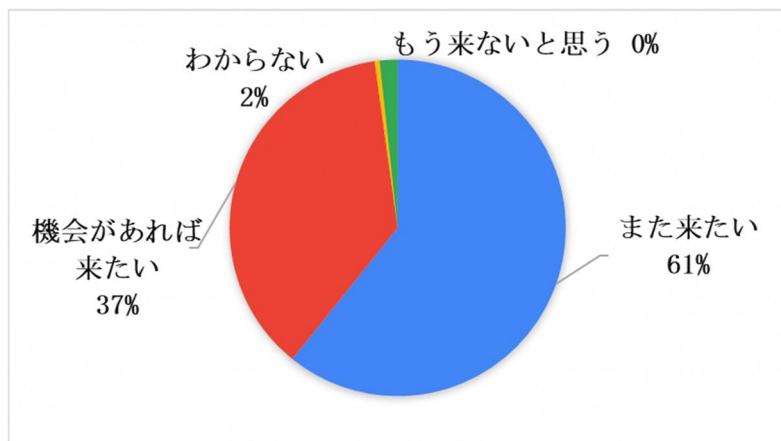
ア 全体

「また来たい」「機会があれば来る」と回答した人は全体で93%を超えていている。



イ 区外の方 641名

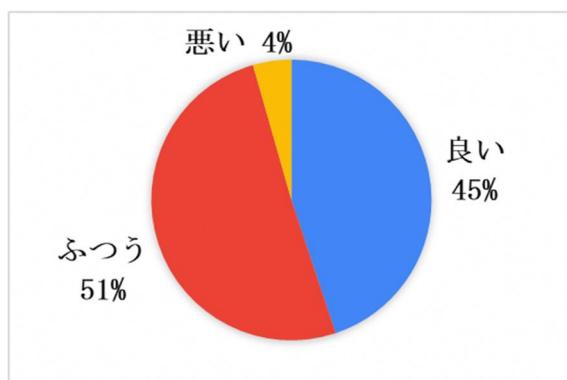
「また来たい」「機会があれば来る」と回答した人は全体で98%を超えていている。



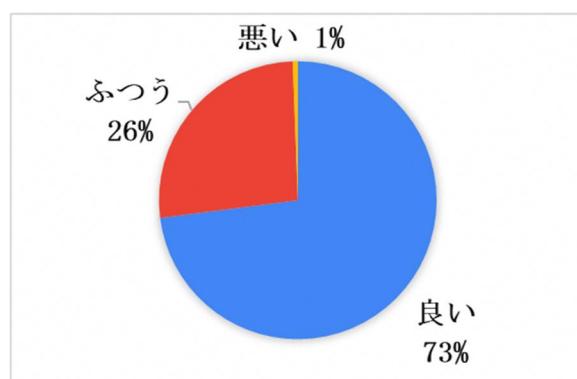
(6) イベント参加前後の足立区の印象について教えてください。

印象が「良い」と回答した人が、イベント参加後に28%増加した。

ア 参加前



イ 参加後



(7) 参加前後の印象の変化の理由・全体の感想

足立区の印象が向上したと答えた方の中で、区内の方は歴史を知り愛着を増した方、区外の方はニュース等から思う悪い先入観が変わったと答えた方が見受けられた。

		印象の変化	印象の変化の理由/感想
区内	ふつう→良い	まだまだ新たな魅力がたくさんあることを知り、千住がより好きになった。区外の友達を呼んで街歩きしたい。	
	ふつう→良い	こんなにたくさんのお寺や神社、お店があるのを知らなかつた。街の歴史や文化を知ることができて、愛着が湧いた。足立区は間違いなくいい方向に向かっていると思う。	
	ふつう→良い	千住宿という他にはない歴史の遺産が身近にあることを改めて知ることができたし、千住エリア全域を使っての謎解き街歩きはとても充実して面白く楽しかつた。また千住でこのような街歩きイベントを期待したい。	

		印象の変化	印象の変化の理由/感想	居住地
区外	悪い→ふつう	なんとなく治安があまり良くないイメージがあつたが、街並みも綺麗で落ち着いた場所もあればお店が活気に満ちている場所もあり、住みやすそうだなど感じた。気になる飲食店を今回のイベントでたくさん見つけたので、是非今度行きたいと思う。		荒川区
	悪い→良い	散歩がてら参加したが、無料でここまで楽しめると思わず良い意味で期待を裏切られた。景観が良い場所が多く楽しかつた。次回も千住エリアの周遊イベントがあれば是非参加したい。		文京区
	ふつう→良い	今話題になることの多い千住だが、若者文化と歴史を感じさせるところが合わさつたところにとても魅力を感じた。ありとあらゆるお店があって、ゆっくり巡つてみたい。		練馬区
	ふつう→良い	23区の中では特に注目したことがなかつたが、イベントを通して足立区の良さ、人のあたたかさに触れられた。歩いていてお店がたくさんあり楽しく、都心で無いような自然も多くて住みやすそうな街。移住の候補地としてまた来たい。		小金井市

5 今後の方針等

実施結果を踏まえ、千住において人気が高かつたスポットや店舗を分析し、PR等に活かしてゆく。今後謎解きイベントを開催する際は、適切な範囲や期間、料金の有無、対象者や手法等をさらに検討する。

産業環境委員会報告資料

令和8年1月22日

件名	令和8年度「光の祭典」事業者選定プロポーザルの実施について												
所管部課名	産業経済部 産業振興課、一般財団法人足立区観光交流協会												
	<p>「光の祭典」において、イルミネーションの企画力等に優れた事業者と契約し、区内外にPRできる観光イベントとするため、公募型プロポーザル方式による事業者選定を行う。</p>												
内 容	1 委託業務内容												
	(1) 「光の祭典」におけるイルミネーションの企画、付随したアトラクションの企画・運営、電飾やオブジェ等の作製、設置及び撤去												
	(2) 期間中に実施するイベント出店テントへの電気配給等												
	2 提案限度価格について												
	(1) 今回の提案限度価格（予定） 61,000,000円（消費税込）												
	(2) 前回（令和5年3月）の提案限度価格 42,000,000円（消費税込）												
	(3) 主な増額の理由												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>理由</th> <th>増額内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>施工、保守管理等スタッフの単価高騰及び人数の増等</td> <td>約950万円</td> </tr> <tr> <td>資材費</td> <td>LED、ケーブル等の単価高騰等</td> <td>約620万円</td> </tr> <tr> <td>工事費等</td> <td>施工・運営経費、重機レンタル等の高騰等</td> <td>約330万円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	理由	増額内訳	人件費	施工、保守管理等スタッフの単価高騰及び人数の増等	約950万円	資材費	LED、ケーブル等の単価高騰等	約620万円	工事費等	施工・運営経費、重機レンタル等の高騰等	約330万円
項目	理由	増額内訳											
人件費	施工、保守管理等スタッフの単価高騰及び人数の増等	約950万円											
資材費	LED、ケーブル等の単価高騰等	約620万円											
工事費等	施工・運営経費、重機レンタル等の高騰等	約330万円											
	3 選定委員会委員（予定）												
	外部委員3名、内部委員（区管理職）2名の計5名												
	4 今後のスケジュール（予定）												
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>2月上旬</td> <td>第1回事業者選定委員会 公募関係書類等の決定</td> </tr> <tr> <td>3月中旬</td> <td>第2回事業者選定委員会 参加表明書審査、提案事業者の決定</td> </tr> <tr> <td>4月下旬</td> <td>第3回事業者選定委員会 提案書審査、提案書の特定</td> </tr> <tr> <td>6月以降</td> <td>契約締結</td> </tr> </tbody> </table>	2月上旬	第1回事業者選定委員会 公募関係書類等の決定	3月中旬	第2回事業者選定委員会 参加表明書審査、提案事業者の決定	4月下旬	第3回事業者選定委員会 提案書審査、提案書の特定	6月以降	契約締結				
2月上旬	第1回事業者選定委員会 公募関係書類等の決定												
3月中旬	第2回事業者選定委員会 参加表明書審査、提案事業者の決定												
4月下旬	第3回事業者選定委員会 提案書審査、提案書の特定												
6月以降	契約締結												

5 今後の方針等

- (1) 前回（令和5年3月下旬～5月下旬に選定委員会実施）の参加事業者は、1者のみであった。今回は、募集期間を約1か月前倒しすることにより、事業者の参加障壁を低くする。
- (2) 民間主催を含めた他のイルミネーションを手掛けている事業者に、事業者公募実施の連絡を行い、複数の事業者が参加するよう努めていく。

産業環境委員会報告資料

令和8年1月22日

件名	「舍人公園千本桜まつり」の開催について
所管部課名	産業経済部産業振興課、 <u>一般財団法人足立区観光交流協会</u>
内容	<p>舍人公園が桜の名所であることを広くPRし、区内外からの来街者を増やすため、以下のとおり「舍人公園千本桜まつり」を開催する。</p> <p>1 実施概要</p> <p>(1) 開催日 令和8年3月28日（土）、29日（日）</p> <p>(2) 会場 都立舍人公園</p> <p>(3) 共催 東京都建設局、東京都交通局、（公財）東京都公園協会</p> <p>(4) 実施内容（予定）</p> <p>ア PR展 区、共催団体、関係団体（警察、消防等）等</p> <p>イ 物産展・模擬店 足立成和信用金庫、北足立市場協会、地元町会・自治会等 ※ 飲食物の調理・販売における保健所ルールの遵守を徹底する。</p> <p>ウ その他 コンサートステージ（公園協会主催）、子ども用遊具（ふわふわスライダー等）の設置、大道芸人によるパフォーマンス等</p> <p>2 今後の方針等</p> <p>(1) 令和7年3月実施時に、常設トイレの待ち時間が、場所により非常に長くなってしまったため、混雑していないトイレへの誘導を行うとともに、仮設トイレを初めて設置する。合計10～20基程度の設置に向け、（公財）東京都公園協会と詳細について調整していく。</p> <p>(2) 共催団体や警察、消防等関係機関との調整を滞りなく行っていくとともに、地元団体や足立成和信用金庫関係の出店者等に、衛生面を含めた出店ルールの説明を丁寧に行い、事故なく円滑に開催できるよう準備を進めていく。</p> <p>(3) 町会・自治会等地元団体の出店について、舍人・伊興・鹿浜区民事務所の地域団体への声かけを、引き続き行っていく。</p> <p>(4) リユース食器の利用団体が広がるよう声かけを行うとともに、食器回収率や来場者の利便性の向上を図るため、出店テント、飲食スペース、ごみステーションの位置関係の見直し等を検討していく。</p>